

# 会議録

主題	平成 30 年度 第 3 回 (仮称) 狭山市防災基本条例市民検討委員会		
打合日時	平成 30 年 12 月 18 日 (火) 19:00~21:00	会議	第 3 回
場所	狭山市役所 6 階 602・603 会議室		
出席者	矢吹委員、栗原啓二副委員長、片寄委員、栗原大輔委員、岸本委員、眞船委員、中村委員、石田委員、井上充司委員、水田委員、山口委員、吉野委員、三輪委員、鍵屋委員長、中川委員、井上健委員、尾澤委員		
代理出席者	無し		
欠席者	廣岡委員、大野委員、小野委員、竹内委員		
事務局	金子危機管理監 危機管理課：渡辺課長、小峰主幹、奥富主幹、栗原主任、白石主任、響見主事		
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 3 回 (仮称) 狭山市防災基本条例市民検討委員会次第</li> <li>・ 第 2 回 (仮称) 狭山市防災基本条例市民検討委員会 会議録【資料 1】</li> <li>・ (仮称) 狭山市防災基本条例の方向性【案】【資料 2】</li> <li>・ 第 2 回 (仮称) 狭山市防災基本条例市民検討委員アイディアまとめ【資料 3】</li> </ul>		

## 議事

議題 (仮称) 狭山市防災基本条例案の具体的検討

- ・ 国の災害への備えと市の防災対策の基本方針をふまえて、防災基本条例を策定することで、それぞれが連動した総合的な防災施策の推進につながると考えている。
- ・ 市民アンケートの分析結果として、「近年各地で大災害が頻発していることから災害や防災への関心があり、「自助」や「共助」が重要なことを頭では理解しているが、実際の防災対策等への行動がとられていないという実態がある。」といったことが浮き彫りになったことから、この分析結果をふまえ、前回の市民検討委員会が出た意見をまとめ、事務局で、「市民、事業者、市の責務」の 3 つの役割・取組みに大きく分類したものが、資料 3「第 2 回 (仮称) 狭山市防災基本条例市民検討委員アイディアのまとめ」であり、この資料を基に防災基本条例の具体的検討を行っていただきたい。

【事務局】

【意見・質疑】

なし

□ワークショップ：跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部：鍵屋一教授

資料 3「第 2 回 (仮称) 狭山市防災基本条例市民検討委員アイディアのまとめ」を用いて、各アイディアについて重要性和緊急性の視点から評価付けを行った。評価は 5

## 議事

が最も重要性が高く、1 が最も低い。まず、委員個々で評価付けを行い、優先順位を決め、その後グループで取りまとめ優先順位をつけた。最終的に各グループの優先順位を取りまとめ、検討委員会全体としての優先順位を決めた。

この検討委員会全体で取りまとめた意見を基に、委員長と事務局で素案を作成し、次回の検討委員会で提示することとなった。

議事終了

以上